

## ベリーズ犯罪等発生状況（令和7年4月分）

### [殺傷事件・銃撃事件関連]

4月1日【銃撃死亡事件】 未明、ベリーズ市コレット地区付近で男性（20歳）が銃撃される事件が発生した。警察によると、被害男性は頭部を銃撃され病院へ救急搬送されたが、搬送から20時間後に被害男性の死亡はした。警察はその後の捜査で容疑者の男性（28歳）を逮捕、殺人罪で起訴した。

4月5日【銃撃事件（当館注目）】 正午頃、カヨ郡ベルモパン市内の商店で、ギャング組織による銃撃事件が発生した。目撃証言によると、この店の駐車場に停まっていた黒い車両に、別の白い車両が近づき、後部座席の窓から銃を持った男性が乗り出し、黒い車両に向けて至近距離から発砲を繰り返した。警察はギャング組織の抗争と見て捜査を続けている。

4月6日【銃撃事件】 午後1時頃、ベリーズ市イグアナ通りで銃撃事件が発生し、3人の男性が負傷した。警察によると、男性1人、女性1人、12歳少年の計3名が負傷しKHM病院へ搬送された。被害者らは治療を受け、いずれも安定している。警察は無差別銃撃事件として 捜査を進めつつ、近隣住民に注意を呼びかけている。

4月8日【銃撃事件（当館注目）】 未明、ベリーズ市マジスティック・アレイの住宅街で銃撃事件が発生し、男性（24歳）が死亡した。警察は、この事件を5日にベルモパン市で発生した銃撃事件の報復と見て捜査し、14日に19歳と23歳の男性容疑者らを逮捕、殺人容疑で起訴した。警察は事件が発生した地域の住民らに対し、ギャング組織による事件が多発しているため、注意するよう呼びかけている。

4月15日【銃撃未遂事件】 午後4時30分頃、ベリーズ郡レディヴル村のガソリンスタンドにて刑務官2人が銃で脅迫される事件が発生した。警察によると、刑務官らはガソリンスタンドで給油しようとしたところ、バイクに乗った2人組の男らに突然銃を突きつけられたが、辛くも逃げ出すことができた。刑務官らにけがはなく、通報を受けた警察官が付近の捜査を続けている。

4月30日【銃撃事件】 午後9時頃、ベリーズ郡ローズバンク村の商店にて銃事件が発生した。警察によると、店主が店の施錠を済ませ通用口から出ようとしたところ、覆面をした2人組の男性に襲撃され、その内の1人が所持していた銃で店主を銃撃し、逃走した。通報を受けて駆けつけた警察が店の裏で店主を発見し、そのままKHM病院へ救急搬送した。店主は治療を受け容態は安定している。警察は引き続き容疑者らの捜査をしている。

## [強盗事件・窃盗事件関連]

4月5日[侵入窃盗事件] 未明、ベリーズ市のケリー通りにあるチョンサン・パレス本店が入居する3階建てのアパートにおいて、侵入窃盗事件が発生した。警察によると、建物の3階の子供の寝室に侵入された形跡があり、貴重品が盗まれていた。警察は周辺の防犯カメラの映像を検証しつつ、犯人の足取りを追っている。

4月8日[侵入窃盗事件] 午後4時30分頃、ベリーズ市に住む男性のアパートにおいて侵入窃盗事件が発生した。警察によると、被害男性は午前6時頃、部屋の玄関扉を施錠して仕事に出かけた。午後4時過ぎ頃、男性が仕事から帰宅すると、部屋が荒らされており、衣類、クツ、スマホの充電器、現金BZ\$35（約2千5百円）が盗まれていた。

4月16日[強盗事件] 午前10時頃、スタンクreek郡との境に位置するトレド郡のインディペンデンス村の商店において強盗事件が発生した。警察によると、2人組の強盗犯らが突然、銃を持ったまま店に押し入り、店主を脅して現金を奪って逃走した。被害額は不明とされ、警察は捜査の一環として現場周辺の検証及び目撃証言を集めている。

4月18日[強盗事件] 未明、ベリーズ市バレル・ブーム村のプリンセス・マーガレット・ドライブで強盗事件が発生した。被害者の男性（27歳）は、2人組の男らに銃で脅され、所持金のBZ\$500（約3万6千円）を強奪されたと通報した。犯人らはその後、自転車で別々に逃走し、依然行方がわかっていない。警察は引き続き、防犯カメラ等の映像を確認し、事件を捜査している。

4月19日[強盗事件] 未明、トレド郡のビラ・ベスタ村においてチェコ人の男性が強盗被害に遭う事件が発生した。警察によると、チェコ共和国籍の男性がホテルにチェックインしようとしたところ、3人組の男性が近づき、銃を突きつけられた。被害男性はBZ\$600（約4万5千円）相当のスマートフォン、BZ\$50（約4千円）相当のカバンを無住まれた。その後、犯人らはホテルの入口付近に停めていた個別のバイクでそれぞれ逃走した。

4月22日[侵入窃盗事件] 午後10時45分頃、ベリーズ市レディビル村のオールド・ウェル道路沿いのノン住宅で侵入窃盗事件が発生した。警察によると、この家に住む看護師の女性（47歳）は、15日に勤務地であるサンペドロへ出発し、21日の夜に帰宅した際、裏口の鍵が破損しているのを発見した。自宅からは、洗濯機、ストーブ、ガスタンク、塗装用品一式が盗まれており、被害総額はBZ\$2,975（約2万5千円）だった。警察は容疑者のものと思われる指紋を採取し、犯人の足取りを追っている。

4月28日【**侵入窃盗事件**】 午前10時頃、ベリーズ市のホーリー・エマニュエル通りに住む男性（25歳）が、侵入窃盗事件を起こしたとして、裁判所へ出廷した。事件は、4月19日から21日の間にチェツマル通りの住居へ連日侵入し、家主の家族に発見され逮捕に繋がった。被告男性は、この家から銃器類を含む、宝石類、酒、その他貴重品を盗み、被害総額はBZ\$6,675（約48万円）だった。

## 【違法薬物・違法銃器類関連】

4月4日【**大麻密輸**】 午前10時頃、ベリーズ市のフィリップ・S・W・ゴールドソン国際空港において、大麻の密輸事件が発生した。警察によると、米国テキサス州、ヒューストン在住の男性（49歳）が同国際空港に到着し手荷物検査を受けたところ、強大麻の匂いが検出され、男性の下着から乾燥シートに入れられた大麻10グラムが発見された。男性はその場で逮捕、起訴され、4月7日にBZ\$1,005（約2万2千円）の罰金が科せられた。

4月7日【**薬物押収**】 未明、ベリーズ沖のターネフ島付近において、流れ着いた違法薬物を地元漁師らが回収する事件が発生した。沿岸警備隊によると、違法薬物はギャング組織が密輸捜査を免れるために海上へ投棄したものと見られ、投棄された違法薬物を地元漁師が回収し密売されていた。沿岸警備隊が海上パトロール中に不審な行動をしていた漁師を発見し、拘束したところ、約1kgのコカイン所持を確認し、これを押収した。引き続き、沿岸警備隊と警察が違法薬物の出处や投棄された場所を捜査している。

4月14日【**銃器所持**】 午前7時頃、ベリーズ市に在住している男性（34歳）が自作した銃器類を所持していたとして逮捕された。警察によると、男性は手製の銃と38口径の弾薬5発を所持していたところ、パトロール中の警察に発見された。男性は逮捕された後、起訴され、禁固5年の刑が言い渡された。

4月16日【**違法薬物と銃器押収**】 未明 トレド郡プンタ・ゴルダ町の民家において、大麻及び許可証のない銃器を押収する事件が発生した。警察によると、同町の民家に違法に銃器を所持しているとの通報を受けた警察官が自宅捜索したところ、許可証のない銃器に加え大麻を押収した。警察はこの家に住む複数名を逮捕、拘束し、銃器の出所と大麻の所持目的を追及している。

## 【その他事件・事故関連】

4月15日【マラリア感染報告（当館注目）】 正午頃、ベリーズ保健福祉省（MOHW）は、カヨ郡サンタエレナ町とクリスト・レイ村で確認されたマラリアの国内感染について報告した。ベリーズでは2年前に国内のマラリアの根絶宣言がされ、国内での感染は6年ぶりとなった。同省は、ボウフラの発生を抑制するためにバケツ等へ水を貯めず、また水場には近づかない、マラリア原虫を媒介する蚊に刺されない対策を講ずるなど、注意を呼びかけている。

4月21日【致死交通事故】 未明、オレンジウォーク郡ギニアグラス近郊で車両が横転する交通事故が発生し、男性が死亡した。警察によると、事故当時、男性が運転していた車両は猛スピードで走行しており、劣化した路面に空いた穴にタイヤを取られ、操作不能になり横転した。警察は詳しい事故の状況を調べるために、引き続き捜査を行っている。

4月22日【交通死亡事故】 未明、オレンジウォーク郡のフィリップ・ゴールドソン・ハイウェイ上で、交通死亡事故が発生した。警察によると、イースター・マンデーの祝日、ハイウェイ上を明らかに速度超過した車両が操作不能になり横転し、運転手が死亡した。また同日、トレド郡では芸術家の男性が交通事故により死亡した。警察は、これらの交通死亡事故は、交飲酒による速度が原因とみて捜査を続けている。

4月27日【野生のイノシシに襲われ男性死亡（当館注目）】 午後4時頃、ベリーズ郡ゲイルズポイント村で男性がイノシシに襲われて死亡する事件が発生した。警察によると、被害男性の畑をイノシシの群れが食い荒らしていたところを、男性がイノシシを追い払おうとした際に、一匹のイノシシが男性の足に噛みつき、足の動脈を損傷した。その後、男性は病院へ救急搬送されたが、出血多量で死亡が確認された。